



セーフコミュニティ通信 第26号

2021(令和3)年9月発行

セーフコミュニティ郡山
2018.2.2 国際認証取得



9月は自殺対策強化月間です

= 自殺予防対策委員会 =

シリーズ②

～ データからこおりやまをみてみよう ～

- ✓ 自殺に関するデータ
- ✓ 自殺予防対策委員会の取り組み

郡山市の2014～2019年における年齢層別死因順位（病気を除く）

年齢層	1位		2位		3位	
10-19歳	自殺	7人	交通事故	4人	中毒	2人
20-29歳	自殺	36人	交通事故	7人	その他の外因	4人
30-39歳	自殺	55人	交通事故	4人	溺死・溺水	1人
					窒息	1人
					煙・火・火災	1人
					中毒	1人
40-49歳	自殺	63人	交通事故	13人	その他不慮の事故	9人
50-59歳	自殺	64人	交通事故	14人	窒息	7人
60-69歳	自殺	47人	その他不慮の事故	18人	窒息	15人
70-79歳	自殺	42人	窒息	27人	その他不慮の事故	24人
80-89歳	窒息	76人	転倒・転落	52人	その他不慮の事故	47人
90歳以上	窒息	39人	その他の外因	26人	転倒・転落	25人
全体	自殺	349人	窒息	168人	その他不慮の事故	123人

人口動態統計2014～2019年（死因帳票）より作成

一人ひとりができること



ゲートキーパーになろう！

【ゲートキーパー】とは、悩んでいる人に

『気づき』『話を聴いて』

必要な支援に『つなげ』『見守る』

ことができる人のことで、いわば「命の門番」とも位置付けられる人のことです。

ゲートキーパーになるために、特別な資格は必要ありません。家族・同僚・友人といった身近な立場の誰もが、ゲートキーパーとして行動することができます。

家や仕事、学校で、身近な方の様子がいつもと違うと感じたら、「どうしたの？」とひと声かけることがゲートキーパーの第一歩です。

私たち一人ひとりの取り組みで、かけがえない命を守りませんか。

自殺予防対策委員会の取り組み

・自殺予防キャンペーン

日時 令和3年9月13日（月）
午前7時から午前8時30分まで
場所 郡山駅前西口駅前広場

※新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置の延長に伴い、延期となりました

・パネル展示

日時 令和3年9月8日（水）～16日（木）
場所 ザ・モール郡山
市民プラザ（ビックアイ6階）

・ゲートキーパー養成講座

定期的に開催しています。
詳しくは、保健・感染症課へ
お問い合わせください。



tel 924-2163



◀ 昨年度実施したゲートキーパー養成講座の様子



SC活動推進事業所をご紹介します！

= セーフコミュニティ活動推進事業所 =

令和2年9月以降に、
新たにセーフコミュニティ推進事業所
に登録された事業所をご紹介します！

(令和3年8月末現在)

- No.
- 29 東北電力株式会社郡山営業所
 - 30 福島交通株式会社郡山支社
 - 31 株式会社みんなの味方
 - 32 有限会社大橋工業所
 - 33 株式会社福島情報処理センター
 - 34 有限会社グリーンフロント
 - 35 公益財団法人郡山市観光交流振興公社
 - 36 公益財団法人湯浅報恩会寿泉堂香久山病院
 - 37 郡山市民アマチュア無線実行委員会
 - 38 渡富建設株式会社
 - 39 有限会社ワタケン
 - 40 柳沼建設株式会社
 - 41 グンダスト事業協同組合
 - 42 郡山ダストクリーン協業組合
 - 43 株式会社日和田ショッピングモール
 - 44 三立土建株式会社郡山支店
 - 45 はなさと保育園
 - 46 はなさと保育園大町分園
 - 47 中町はなさと保育園



これまでに登録いただいた事業所については、
「セーフコミュニティ通信第19号・22号」でご紹介
しています（参加登録事業所No.1～28まで）。
また、市ウェブサイトにも掲載しています。

事例①【東北電力（株）郡山営業所】

テーマ

交通安全、こどもの安全、高齢者の安全、
自殺予防、防犯、防災・環境安全、その他



「こども110番の車」として
見守りを実施



アルコールチェッカーによる
運転前の確認

ほかにも、認知症SOS見守りネットワーク事業へ
参加したり、県や各市町村の防災訓練へ参加してい
ます。

その他、労働災害事例の周知による
類似災害の防止に努めています。



事例②【（株）日和田ショッピングモール】

テーマ

交通安全、自殺予防、防犯、
防災・環境安全、その他



テロ対策訓練の様子



年1回ストレスチェックやテロ対策訓練、
また、火災予防運動への協力をしています。

その他、事故・事案の水平展開により、
類似事故・事案を防止しています。

事例③【（公財）郡山市観光交流振興公社】

テーマ

こどもの安全、高齢者の安全、
防犯、防災・環境安全、その他



年2回の消火・避難訓練



遊具等の日常点検の徹底

ほかにも、高齢者の安全のために、樹木の根っこ等
による段差を解消したり、車いすの無料貸出を行って
います。また、犯罪抑止に繋げるため積極的な挨拶等
の声掛けの実施や、熱中症対策のためミスト付扇風機
等の設置もしています。

安全・安心活動に取り組む企業・団体や事業所を募集しています！



引き続き、「セーフコミュニティ活動推進事業所」の登録事業所を
募集しています。

登録いただいた事業所は、市ウェブサイト、セーフコミュニティ通信
などに掲載し、事業所の安全・安心活動をPRします！

詳しくは、市ウェブサイトをご覧ください。

セーフコミュニティ 活動推進事業所

検索

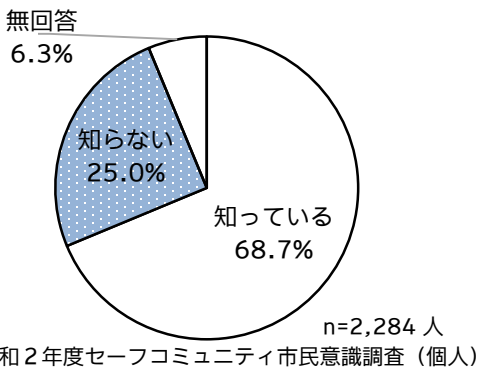


11月は児童虐待防止推進月間です

= こどもの安全対策委員会 =

令和2年度に実施したセーフコミュニティ市民意識調査において、『こどもが虐待を受けているかもしれないと思った場合、連絡（通告）義務があることを知っていますか？』という問いに【知っている】と回答したのは7割弱で、【知らない】と回答した人は全体の4分の1を占めました。

Q あなたはこどもが虐待を受けているかもしれないと思った場合、連絡（通告）義務があることを知っていますか？



『虐待かも？』
と思ったら迷わず
連絡してください



ひとりで悩まず
相談してください

こどもの虐待等に関して、
以下の窓口で相談することができます

児童相談所全国共通ダイヤル

こどもへの虐待に関する相談

☎ 189（無料）

受付：24時間

郡山市こども家庭相談センター

こどもの養育や虐待等の
こどもに関する相談

☎ 024-924-3341

受付：午前8:30～午後6:00
（第3土日、年末年始を除く）

福島県県中児童相談所

こどものあらゆる相談
（18歳未満）

☎ 024-935-0611

受付：月～金午前8:30～午後5:15
（祝日、年末年始を除く）

子どもの人権110番

虐待、いじめや嫌がらせ、体罰
などこどもが抱える人権問題
に関する相談

☎ 0120-007-110

受付：月～金午前8:30～午後6:00
（祝日、年末年始を除く）

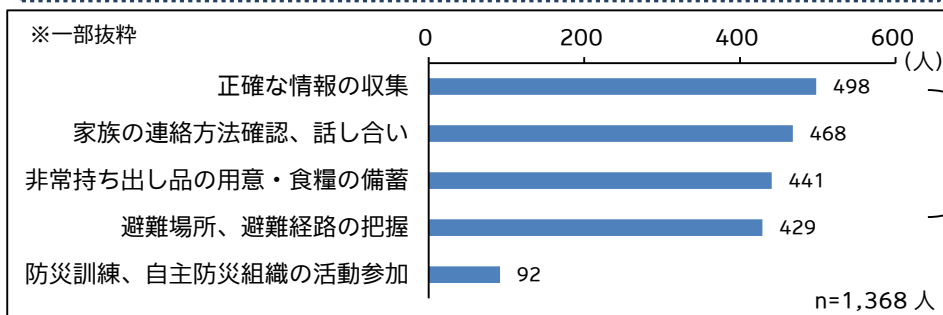
災害に備えましょう！

= 防災・環境安全対策委員会 =

2018年から今年にかけて災害をもたらした大雨や台風の発生は、7月から10月に集中しています。
（気象庁HPより）

いざという時の迅速・的確な行動が、被害を最小限に抑えるための重要なポイントになります。

Q ご家庭での災害対策で現在行っているものはどれですか？（複数選択可）



約30～36%の世帯が
実施していると回答

わが家の防災ハンドブック（郡山市作成）に記載の【郡山市マイ・タイムライン】
を活用して家庭における防災行動計画を立てましょう！

たとえば…

☐ 自宅の状況

- ・浸水想定区域に入っているか
- ・土砂災害区域に入っているか

☐ 避難する場所

☐ 避難の目安

☐ 非常時に準備するもの

わが家の防災ハンド
ブックはこちらから
ダウンロードできます





『予防救急』に取り組みましょう！

= 予防救急 =

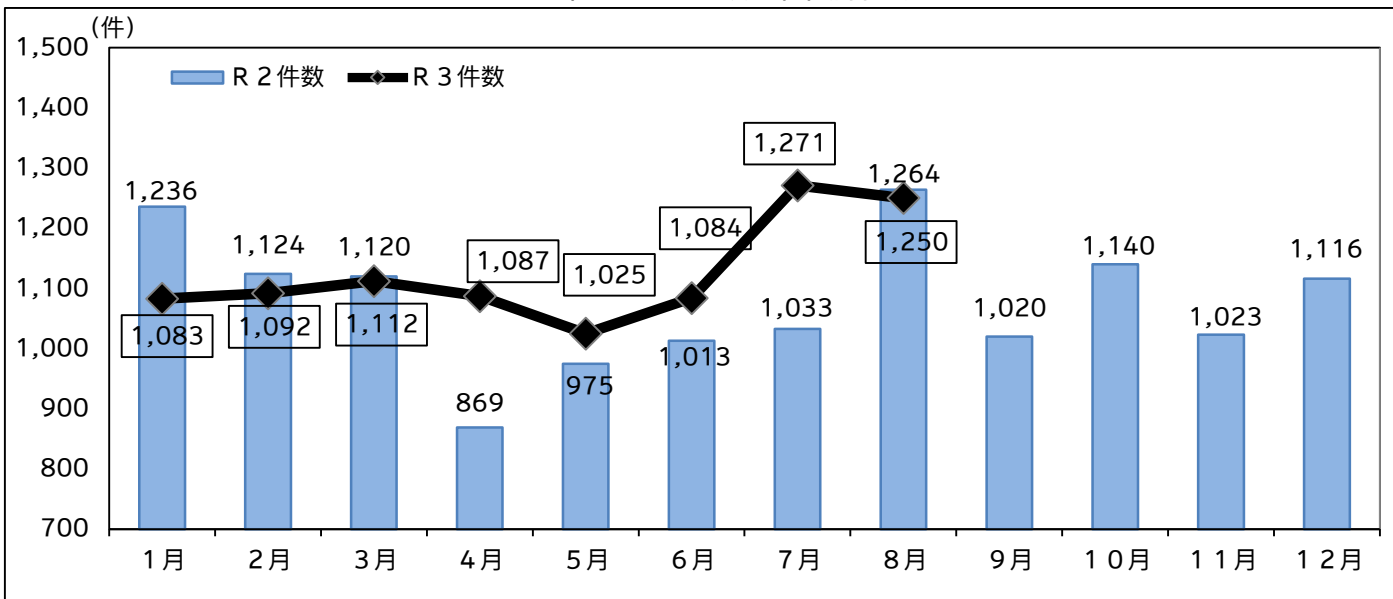
新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、疑い患者及び陽性者の搬送が増加することにより、医療機関への照会回数及び現場での滞在時間が延伸しています。（※表 調査期間 令和3年1月1日から8月31日まで）

『予防救急』とは、予防できるけがや病気による救急要請を減らし、救急隊が一刻を争う危険な状態の人のところへすぐに駆けつけることができるように、日ごろみなさんに取り組んでいただきたいけがや病気の予防のことをいいます。

新型コロナウイルス感染症に罹らないように気をつけると同時に、けがや事故を減らし、救急要請件数の減少に貢献することも、大切なセーフコミュニティ活動です。

一人ひとりが自分でできるセーフコミュニティ活動に取り組みましょう！

郡山市における救急出動件数



※表	医療機関への 照会回数	現場での滞在時間
コロナウイルス感染症 の疑いがある患者等	平均 1.4回	平均 22分
上記以外	平均 1.1回	平均 13分

情報提供：郡山地方広域消防組合



昨年の同時期に比べると、
4～7月の
出動件数が増えています。

この時期特に気をつけよう！



- ☐ 草刈りや畑仕事などをする際は、
長袖、長ズボン、帽子を着用し、
蜂に刺されないように気をつけよう



- ☐ こまめに水分をとったり、
温度管理を行い、
残暑における熱中症に気をつけよう



- ☐ 災害に備えるための情報を収集しよう



郡山地方広域消防組合は
けがなどを予防する
『予防救急』に
取り組んでいます。



- ☐ 外に出る際には、
薄暮時から明るい服装や
反射材を身につけるなどして
ドライバーに存在を知らせよう

発行 郡山市セーフコミュニティ推進協議会 / 2021(令和3)年9月

【お問合せ・連絡先】

事務局：郡山市市民部セーフコミュニティ課セーフコミュニティ推進室（郡山市役所西庁舎3階）

電話 024-924-2151 ファクス 024-921-1340

メールアドレス safecommunity@city.koriyama.lg.jp

